

「倉吉モデル中学校統一制服」導入に係る実施方針



1 事業概要及び目的

倉吉市内の中学校における制服の統一化

生徒の多様性に対応するため、「ジェンダーレス制服(ブレザー等)」を市内統一で導入し、選択できるようにすることで、生徒が満足いく学校生活が期待されます。また、どの中学校に入学しても同程度の価格で購入でき、市内全体での再利用(リユース)や兄弟姉妹での使用も可能となります。家庭での洗濯ができる生地や長期間使用できる丈夫な生地を採用することで保護者負担の軽減が期待できます。

また、倉吉市中学校 PTA 連合会からもブレザーへの移行や統一制服の導入の要望があったことから、全市統一型制服への導入に向け取り組みを進めます。

受容性の高い学校環境をつくり、制服を選択できるようにすることで、多様な中学生の自分らしさを応援します。

実施の目的

- (1) 多様性の対応として「ジェンダーレス制服」を選択できる(多様な中学生の自分らしさを応援)
- (2) 市内統一型にすることにより、兄弟姉妹や市全体で再利用(リユース)できる
- (3) スラックスを採用することにより、安全性や防犯の向上が期待できる
- (4) 保護者負担の軽減が期待できる(市内中学校の制服が同程度の価格で購入できる、家庭での洗濯が可能となるなど)

2 事業開始年度

事業開始年度: 令和8年度

3 移行期間の設定

令和 11 年度より完全移行 (令和 10 年度までは旧制服の着用も可とします。)

4 対象校

市内全中学校

(東中学校、西中学校、久米中学校、河北中学校、鴨川中学校)

5 具体的な進め方

- (1) 保護者・生徒アンケートの実施
- (2) 倉吉市立中学校制服統一検討委員会の設置
- (3) 制服デザインの決定
- (4) 制服制作に係る費用の算出
- (5) 事業評価(アンケート実施)